



# 川内村第4行政区

上智大学学生地域社会研究グループ

# 目次

- 1) 私たちの紹介
- 2) 「奇跡の村」と呼ばれた川内村
- 3) 調査方針
- 4) 活動報告
- 5) 現状＋課題
- 6) 川内村の「とっておき」
- 7) 提案



# 私達の紹介

上智大学総合人間科学部社会科学科 2年



# 「奇跡の村」と呼ばれた川内村

郡山駅から車で2時間弱  
常磐道「常磐富岡IC」で20分



福島第一原発から30キロ圏内  
しかし、放射線量が低かった川内村。  
↓  
全村避難から約1年で『帰村宣言』

川内村ホームページより  
<http://www.kawauchimura.jp/>



# 調査方針

## 〈わたしのとっておきプロジェクト〉

- ・ 地元の方と一緒に、川内村の魅力を再発見する
- ↓
- ・ 地元の方に『とっておき』の場所、食べ物を教えていただく



「あるもの探し」をコンセプトに！

わたしの  
**とっておきプロジェクト**

初めまして！  
上智大学「学生地域社会研究グループ」です。  
今回福島県の「大学生の力を活用した集落復興支援事業」  
で川内村第4行政区とのご縁をいただき、活動させていただくことになりました。

**活動内容：**  
・ 集落の方に自分の「とっておきの場所」「とっておきのご飯」等の写真を撮っていただく。  
・ 私たち学生が気が付いた「とっておき」の写真も撮る。

**目的：**  
「とっておき」の写真を撮ることで、普段は意識しない村の魅力を再発見し、それらをインターネットや紙媒体を通して、外部へ発信する。

**活動予定日：**  
10月6日・7日、  
11月3日・4日、  
11月10日・11日、  
12月未定。

**ご協力よろしくお願いいたします！**

指導教員：植田今日子、  
首我穂衣・園田ひとみ・田島佳苗・橋本瑞希・横田明里。

# 活動報告



第三回 10/6-7

- ◇田んぼ・ライスセンターの見学
- ◇婦人会の皆様に協力頂いて  
郷土料理作り、食事会
- ◇村内見学



第二回 9/10-11

- ◇役場での聞き取り  
(復興に関する説明)
- ◇保育園の先生方に  
インタビュー
- ◇村内見学



第四回 11/3-4

- ◇川内祭り参加
- ◇住民（移住者の方）への  
インタビュー
- ◇村内見学



第五回 11/10-11  
◇第四行政区区民祭参加・手伝い  
◇いわなの郷  
(釣り体験・利用者の方への  
インタビュー)

第六回 12/23-24  
◇川内盛り上げっ課主催しめ縄作り  
◇区長、代理区長との最終打ち合わせ  
◇村内見学





## 現状+課題

若者の人口流出

→震災後

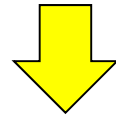
→少子高齢化による農業、祭礼等の担い手不足

・川内村の帰村率=80.9%(住基人口に対しての生活者数)

→50歳以上の帰村率=89.78%

→50歳未満 // =66.04%

↳ 小中学生 : H22=169人  
H30=66人



若い世代の交流人口や関係人口を増やす

→何度も足を運んでくれるようにする



# 川内村の「とっておき」





↑川内村産リンドウ

←古熊山不動滝





↓平伏沼





↓ いわなの郷→



かわうちの湯→



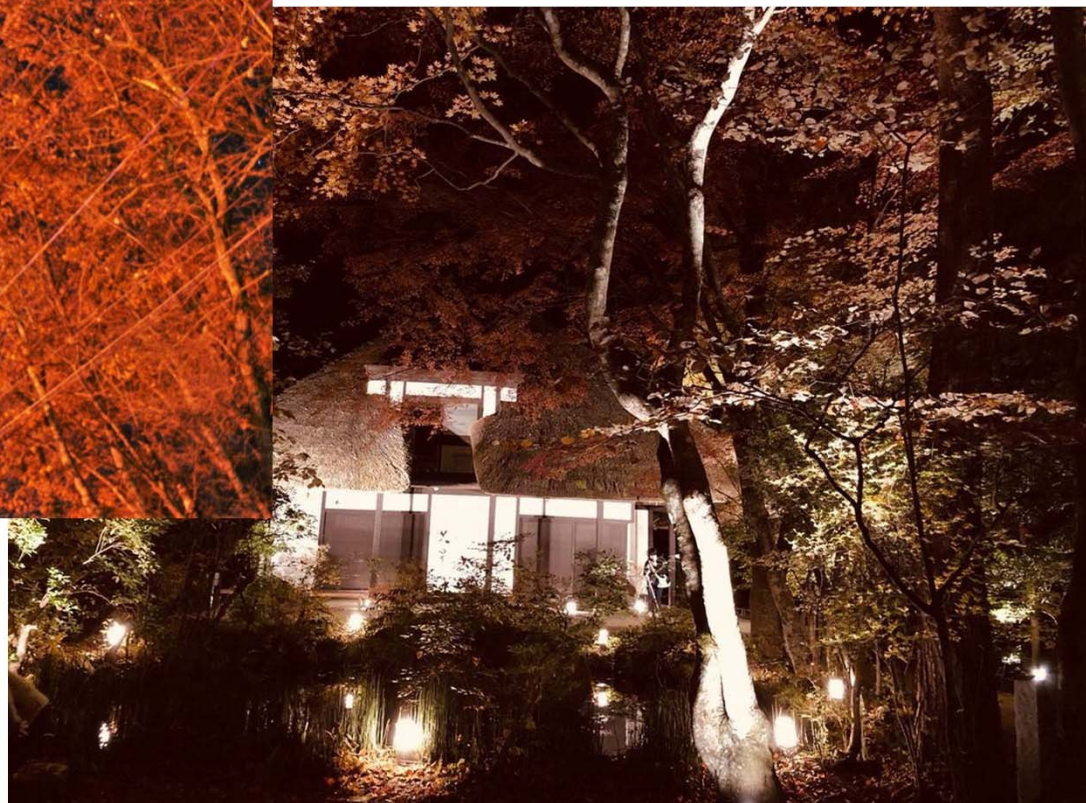




←川内村の夜空

↑上諏訪神社

天山文庫→







←川内村産もち米

←川内村のご飯



↓川内高原そばを使用したそば大福



# 提案

素敵な人、素敵な空気にあふれる川内村のことをまずは知ってもらいたい。

➡その「きっかけづくり」をする

- ①SNSでの情報発信（インスタグラムの開設）
- ②第4行政区の魅力を詰め込んだ冊子作り
- ③上智大学構内での、川内村の特産品販売、宣伝

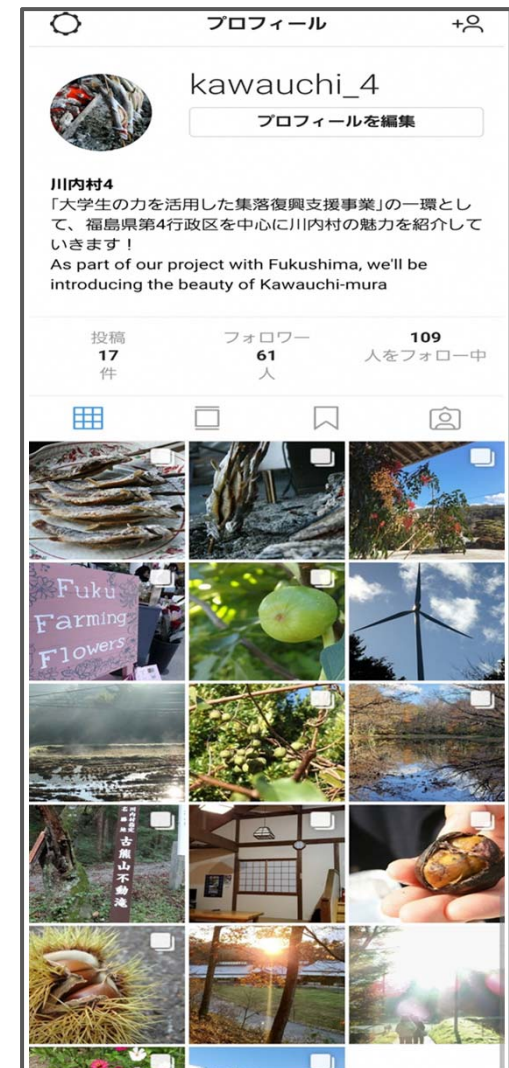
# インスタグラムの開設

・ 2018年11月 開設

→現在は主に風景を投稿。

→福島県にゆかりのある方、自然に関心のある方、海外の方など、様々な方面から反響あり。

→今後、川内の人々の写真なども投稿し、更にフォロワーの増加を目指す。





# 冊子 (構想案)

4区を中心とした、川内村の魅力を詰め込んだ冊子作り。

川内村内をはじめ、東京のアンテナショップや大学内にも置くことを目標。

川内のご飯

川内のお母さんの味  
昔からの伝統の味を川内村。

けんちん汁  
じゅうねん (＝蒟蒻)

じゅうねんぼた餅  
じゅうねん (＝蒟蒻)

しらあえ  
じゅうねん (＝蒟蒻)

いかにんじん  
じゅうねん (＝蒟蒻)

川内の人々

①○○○○さん

# 大学での特産物の販売・展示

東京の大学に通う私たちだからこそできること

→大学構内で川内村の特産品を販売＋宣伝パンフレットをつける。

→多くの人に知ってもらおう。関心を得る。

→川内村を訪れたいと思ってもらおう

※販売品及び時期については、大学側と第4行政区と検討中。





ご清聴ありがとうございました。

